～施設での検体採取方法の例～　検体提出日の当日，前日又は前々日に，採取時間・場所を決めて実施します

①事前準備

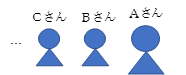
・受検者に問診票兼同意書を配布し，採取場所・日時を周知する

・あらかじめ検査容器に№ラベルを貼っておく（既に貼ってあるラベルに重ねて貼ってください）

③検体採取

※「唾液のとり方」をよく読んで採取してください

※キャップは確実に閉めてください。運搬中に中の液が漏れ出すと，施設全員の検体を採取し直していただくことがあります



唾液をとった日 令和3年●月●日

②窓口で，受付時に番号を記入する

⑤窓口で，検体受付時に採取日を記入する

名前・ラベル№

ＯＫ！



ジップロックには，検体を５人分入れる

ラベル№A001-001

氏名：Ａ

問診票兼同意書

問診票兼同意書

氏名：Ａ

②窓口担当者は，受検者にキットを渡し，問診票兼同意書を受け取る

その際，問診票兼同意書に渡した検査容器のラベル№を記入する



検査キット

⑤窓口担当者は，

・④の検体のラベル№と，②の問診票兼同意書に記載されている氏名とラベル№が間違いないことを確認する

・問診票兼同意書の「唾液をとった日」欄に採取日を記入する

窓口

※　必要に応じて「施設別検体提出者リスト（施設控用）」を活用し，施設用の控えを作成してください。

※　検査結果はラベル№でのみ管理されるので，ラベル№を間違えないよう，十分注意して問診票兼同意書に記入してください。

※　回収した検体は，検体提出日に梱包するまでは冷蔵保存してください（冷凍は不可）。

※　全員分の検体回収が終了したら，問診票兼同意書の枚数と実際の検体数が一致していることを確認してください。

④受検者は窓口担当者へ検体を提出する



キャップを確実に閉めること

受検者